⑵　駐車ブレーキ	①　レバーを最大限に引いた状態で、引きしろの余裕の有無を調べる（ラチェット式の駐車ブレーキに限る。）。	①　引きしろに余裕があること。
	②　レバーの引く力又はペダルの踏力及びレバー又はペダルの戻り具合を調べる（トグル式の駐車ブレーキに限る。）。	②　レバーの引く力又はペダルの踏力が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあり、レバー又はペダルの戻り具合が正常であること。
	③　無負荷状態において、20パーセント勾配の床面で、駐車ブレーキの効き具合を調べる。	③　効き具合が適正であり、かつ、無負荷状態において、20パーセント勾配の床面で停止する能力を有すること。
	④　爪及びラチェット部の損傷及び摩耗の有無を調べる。	④　損傷及び著しい摩耗がないこと。
	⑤　ブレーキ締付けスプリングの伸びを調べる（デットマン式の駐車ブレーキに限る。）。	⑤　ブレーキ締付けスプリングの伸びが当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
⑶　ロッド、リンク及びケーブル類	①　損傷の有無及びクランプの緩みの有無を調べる。	①　損傷及び緩みがないこと。
	②　ブレーキを作動させ、連結部の緩み及びがた並びに割りピンの欠損の有無を調べる。	②　緩み及びがたがなく、かつ、割りピンの欠損がないこと。
⑷　ホース及びパイプ	①　圧力をかけて、油漏れ及びエア漏れの有無を調べる。	①　油漏れ及びエア漏れがないこと。
	②　ひび割れその他損傷及び劣化の有無を調べる。	②　著しいひび割れその他損傷及び劣化がないこと。
	③　ホースクランプ、パイプ支持部の取付けボルト及びナットの緩み及び脱落並びにホース及びパイプと車体その他の部分との干渉の有無を調べる。	③　緩み及び脱落がなく、かつ、干渉がないこと。
⑸　オイルブレーキ	①　ペダルを操作し、マスターシリンダー及びホイールシリンダーの作動の適否を調べる。	①　円滑に作動すること。
	②　ペダルを操作した後、マスターシリンダー及びホイールシリンダーからの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
	③　リザーバータンク内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	③　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
⑹　エアブレーキ	①　ペダルを操作し、ブレーキチャンバーロッドのストローク及び戻り具合を調べる。	①　ストロークが当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあり、かつ、戻り具合に異常がないこと。
	②　エアリザーバーを規定値まで加圧した後、リザーバー、バルブ及びブレーキチャンバーからのエア漏れ及び油漏れの有無を調べる。	②　エア漏れ及び油漏れがないこと。
⑺　ブレーキ倍力装置	①　チェック弁及びリレー弁の作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
	②　ペダルを反復操作し、エア漏れ及び油漏れの有無を調べる。	②　エア漏れ及び油漏れがないこと。
⑻　ブレーキドラム及びブレーキシュー	①　ドラムとライニングの隙間を調べる（アジャスター手動調整式のものに限る。）。	①　隙間が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
	②　ドラムを取り外し、ライニングの剥離、損傷及び摩耗の有無を調べる。	②　剥離、損傷及び著しい摩耗がないこと。
	③　ドラムを取り外し、アンカーピンの腐食及びスプリングのへたりの有無を調べる。	③　腐食及びへたりがないこと。
	④　ドラムを取り外し、ドラム内面の亀裂、損傷及び摩耗の有無を調べる。 　亀裂の存在が疑われる場合は探傷器等で調べる。	④　亀裂、損傷及び著しい摩耗がないこと。